

| 授業科目(ナンバリング) | 発育発達論(CC106) | | | 担当教員 | ※西田 明史 | | | |
|---|---|-----|------|---------|--|-------|----------------|-----|
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 1 年・前期 | 必修・選択 | 選択 | |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 | |
| 本授業は、人体の構造と機能を基本において、その内容を構成している。ヒトが誕生してから死に至るまでの形態発育と機能発達の変化を観察し、最近の知見を加えながら考察していくことがねらいである。 | | | | | | | ①⑧ | |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | | |
| 専門力 | <ul style="list-style-type: none"> ・発育発達によるヒトの身体の変化について考察することができる。 ・子どもの発育期における運動や体力の発達を理解することによって児童の初期スポーツ指導について考えることができる。 ・スポーツ指導者として活動を行う際に子どもの発育期における基礎知識として活用できる。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・講義ノートの作成 ・講義ノートの完成度 ・定期試験 | 10% | 15% | 50% |
| 情報収集、分析力 | <ul style="list-style-type: none"> ・人体における構造の発育と機能の発達について具体的に述べることができる。 ・スキャモンの発育曲線について説明できる。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・講義ノートの作成 ・講義ノートの完成度 | 10% | 15% | |
| コミュニケーション力 | | | | | | | | |
| 協働・課題解決力 | | | | | | | | |
| 多様性理解力 | | | | | | | | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | | |
| 合計 | | | | | 100% | | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | | |
| <p>毎回の授業開始時に講義ノート（授業内容に応じたワークシート）を配布する。毎回の授業終了時に講義ノートを回収し、次回の授業において、課題に関する特徴的な見解等についてコメントする。</p> <p>評価については、(1) 授業時に作成した講義ノートの完成度、(2) 定期試験の結果を総合的に判断する。</p> | | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | | |
| <p>乳児期から更年期までの骨格、骨格筋、神経系、感覚器、血液・循環器系、呼吸器系、内分泌系などの人体各部位における発達と加齢変化に着目し、講義を行う。さらに、講義内容を中心とした新聞記事や統計資料、映像資料等を通して理解を深める。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。</p> | | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | | |
| <p>教科書：高石昌弘監修 樋口満ほか「からだの発達と加齢の科学」大修館書店 参考書、指定図書：日本体育協会公認スポーツ指導者養成テキスト 日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導員テキスト</p> | | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | | |
| <p>日本体育協会公認スポーツ指導者を目指す人。 講義ノートを整理するため必ずA4サイズのファイルを準備・持参すること。</p> | | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|---------------------------------|---|--|
| 1 | オリエンテーション | 講義のねらいと進め方について | 予習：シラバスを読んで授業の流れを把握する |
| 2 | 総論 (教科の解説、身体発育発達の概観) | 総論(教科の解説、身体発育発達の概観、身体発育研究の方法) | 予習：ヒトの発育発達について調べる |
| 3 | 個体の発生 (1) | 1. 精子と卵子の形成 2. 月経のメカニズム 3. 胎生期間 (1 週目～8 週目) | 復習：個体の発生について復習する |
| 4 | 個体の発生 (2) | 1. 胎生期間 (8 週目～38 週目) 2. 胎児の循環 3. 胎盤の機能 | |
| 5 | 形態発育の経過 ---身体各部の発育過程 (1) --- | 1. 長育(身長)、2. 量育(体重、皮下脂肪量)、 3. 幅育(肩幅、腰幅) 2. 周育(頭囲、胸囲) | 予習：骨格の名称について調べる |
| 6 | 形態発育の経過 ---身体各部の発育過程 (2) --- | 1. 骨格の発育、2. 歯牙の発育、3. 身体組成の変化、 4. 体形の変化、5. 姿勢の変化 | 復習：骨格の発育について復習する |
| 7 | 機能発達の経過 ---筋の発達--- | 1. 筋の構造と機能、2. 筋の発育・発達 | 予習：骨格筋の名称について調べる 復習：骨格筋および神経系の構造と機能について復習する |
| 8 | 機能発達の経過 --神経系の発達-- | 1. 神経系の分類、2. 神経系の構造と機能、3. 反射と随意運動 4. 脳の発達 | |
| 9 | 機能発達の経過 --感覚の発達-- | 1. 視覚の発達、2. 聴覚の発達 | |
| 10 | 機能発達の経過 --エネルギー代謝の発達-- | 1. エネルギー代謝、2. 基礎代謝、3. エネルギー代謝率 | 復習：加齢によるエネルギー代謝の変化について復習する |
| 11 | 機能発達の経過 --呼吸器系の発達-- | 1. 呼吸運動、2. ガス交換、3. 肺活量、4. 呼吸器系の発達 | |
| 12 | 機能発達の経過 --循環器系と内分泌系の発達-- | 1. 循環器系の発達、2. 内分泌系の発達 | |
| 13 | 運動能力の発達と発達段階からみた身体発達の特徴 | 1. 運動能力の発達 1) 移動運動、2) 歩行、3) 走、跳、投、4) 加齢による影響 2. 発達段階からみた身体発達の特徴 | 復習：運動能力の発達・加齢変化について復習する |
| 14 | 発育発達論から見た競技スポーツ | 発育発達期のプログラム スポーツ選手の育成および強化(ジュニアについて) | |
| 15 | 発育発達論から見た生涯スポーツ | 若年成人・中高年期のプログラム スポーツを通じた健康維持、機能低下と運動・スポーツ | |
| 16 | 定期試験 | | |